

自己完結型救命センターにおけるシフト制導入前後での診療体制と患者アウトカムの比較検討

研究協力のお願い

当科では「自己完結型救命センターにおけるシフト制導入前後での診療体制と患者アウトカムの比較検討」という研究を中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2017 年 11 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに日本医科大学付属病院 救命救急科に入院した患者さん。

2. 研究の目的

日本医科大学付属病院 救命救急科では、医師の働き方改革の一環として、2023 年 10 月から時間を区切って交代で勤務する「シフト勤務」を導入しました。このような働き方の変化が、救急で搬送された患者さんの治療や回復にどのような影響を与えるかは、わかつていません。今回の研究の目的は、シフト勤務の導入によって、患者さんの死亡率や入院日数に変化があったかどうかを明らかにすることです。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学付属病院で実施する研究で、研究責任者は救命救急科 中江竜太、研究事務局は救命救急科 五十嵐豊です。

2017 年 11 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに日本医科大学付属病院 救命救急科に入院した患者さんを対象とし、シフト制を導入した 2023 年 10 月前後で患者さんの死亡率や入院日数を比較します。

研究実施期間は実施許可日から 2026 年 12 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、既往歴（心疾患、慢性呼吸不全、末期肝疾患、腎不全、免疫抑制状態（悪性腫瘍、AIDS、免疫抑制剤使用など））、入院時の重症度（以下から算出：年齢、既往歴、意識レベル、平均動脈圧、脈拍、呼吸数、体温、動脈血 pH、PaO₂、HCO₃⁻、白血球数、ヘマトクリット、ナトリウム、カリウム、クレアチニン）、転帰（生存退院または死亡退院）、入院日数

利用を開始する予定日：実施許可日

情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する情報は、容易に個人を特定できないように記号化した番号により管理され、情報をインタ

一ネットに接続されてないパスワードのかかったパーソナルコンピュータにそれぞれ保管し、患者さんの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。また、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学付属病院 救命救急科 中江竜太

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24346

メールアドレス：nakae@nms.ac.jp